

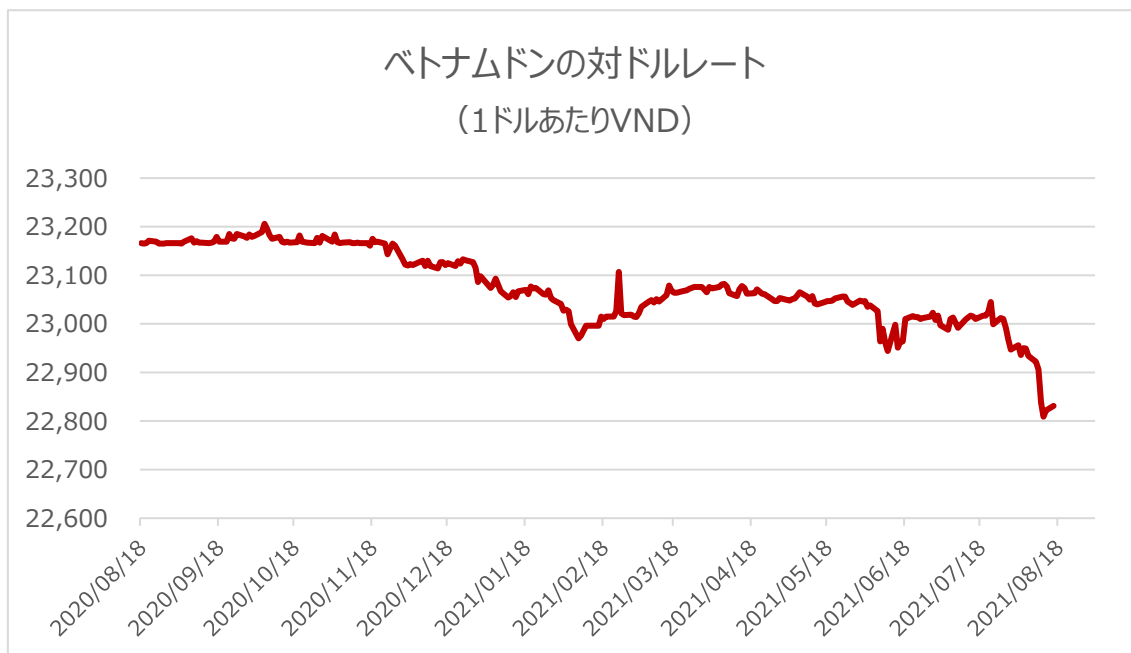


ベトナムドン、最近の動きと今後の見通し

2021年8月20日
 キャピタル アセットマネジメント
 調査部

《最近の動き》

過去1年間ベトナムドンは対ドルで上昇基調にある。米国の低金利とベトナムの対米輸出の急増が背景にある。ドル円レートの影響を受ける対円レートでも強含んでいる。



出所：ブルムバーグのデータを基にCAM作成

上記データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

米国財務省は、近年のベトナムの対米貿易黒字の増大をうけ、ベトナムに対して「為替操作国」の嫌疑をかけてきた。事実、同財務省は4月に公表した為替報告書で、スイスとベトナム、台湾が為替相場を操作した可能性があるとしていた（但し、バイデン政権は「為替操作国」の認定は見送った）。

しかし、7月、イレン米財務長官とベトナム中銀のグエン・ティ・ホン総裁がオンラインで協議した結果を踏まえ、米国財務省はベトナム政府との協議で、ベトナム中央銀行が通貨ドンの競争的な切り下げを実施しないことで合意したと明らかにした。ベトナムは国際通貨基金（IMF）規則に基づき競争的な為替操作の回避を確約している。これによって当面の間、米国の為替操作国に対する対抗措置としての制裁関税の発動等は見送られることになった。

この協議の前後にベトナム中銀（SBV）は国内の米ドルのスポット購入レートを2度切り上げている。6月8日に1ドルあたり23,125VND⇒22,975VND、8月11日に同22,975VND⇒22,750VNDへと順次切り上げを行った。これを反映して、実勢レートも23,165（2020年8月17日）⇒22,831（2021年8月16日）へと1.44%上昇している（上グラフ参照）。

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



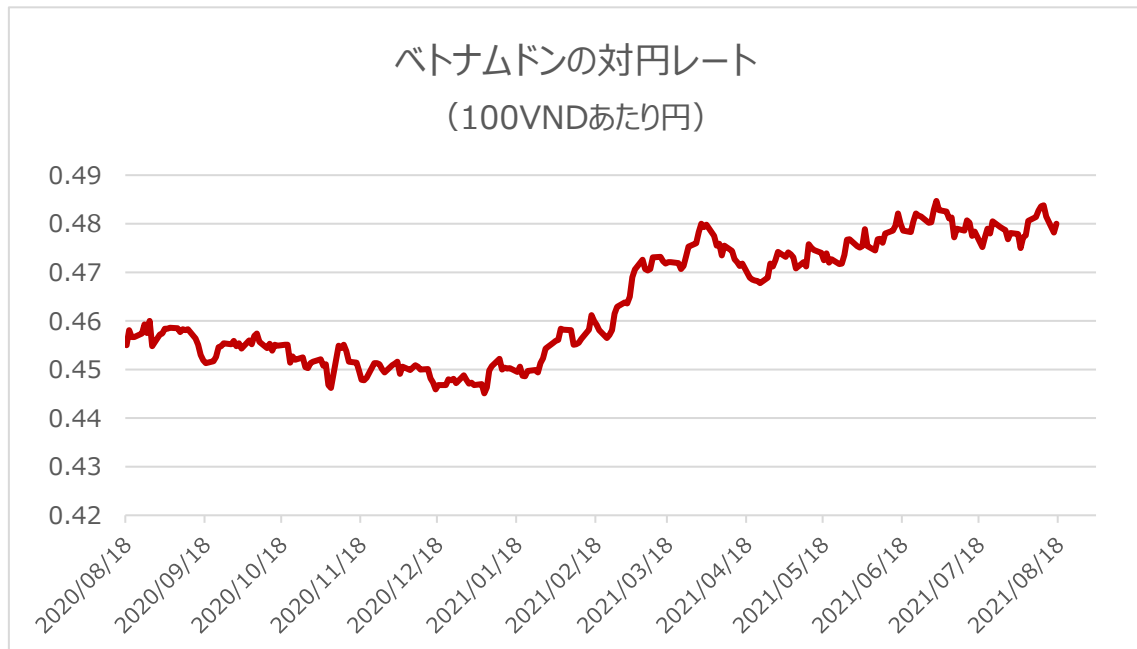
《今後の見通し》

今後もベトナムドンはドルに対し堅調な動き、または強含みの展開を見せると予想される。その理由としては、

- ① 前述の米国との協議の結果を踏まえ、ベトナム中銀は今後ベトナムドンを安値誘導する政策はとりづらいこと。
- ② 足元の世界的な原油・燃料価格の上昇を受け、輸入額が増加しているベトナムでは輸入インフレを回避するために、ベトナムドンを高めに誘導するインセンティブが働きやすいこと。
- ③ ベトナムドン高はベトナムの外貨準備高（現在およそ 1,000 億ドル弱であると思われる）の積み上げを促進するが、これはベトナムドンをさらに安定・上昇させるものであると考えられること。

が挙げられる。

貿易黒字と海外直接投資（FDI）による資金流入による外貨準備高の積み上げと安定したインフレ率（7月は前年同月比+2.64%、政府の通年目標は4.0%以下）を前提とすれば、今後中長期的にベトナムドンはドルに対して堅調な動きが予想される。



出所：ブルムバーグのデータを基に CAM 作成

上記データは過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

以上